



内視鏡部からのメッセージ

『新たな医療へ、世界へ』

附属病院内視鏡部の研修プログラムを実施する東京慈恵会医科大学内視鏡科は、1963年に発足した日本で最も長い歴史と伝統を持つ内視鏡科です。

本プログラムでは、消化器内視鏡専門医、消化器病専門医、内科専門医の取得を目指します。サブスペシャリティ研修では、内視鏡を通じてほぼ全ての消化管疾患や胆道膵疾患に対する診断、低侵襲治療についての研修を行います。

良い内視鏡医には、病変を見極める“鋭い眼”と、病態を理解し瞬時に正確な判断をするための“豊富な知識”、そして精緻な処置を行うための“高度な技術”が求められます。また、消化器内視鏡は我が国が圧倒的先進性によって世界をリードする未だ成長過程の新しい医学領域です。

我々は、短期間に豊富な症例を経験し専門的な技能を身につけたい先生方や、若いうちに新しい医療へのチャレンジを行いたいと望む先生、世界へ羽ばたきたいと思われる先生、そして何より病気をできる限り早期に発見し、患者さんの体に負担の少ない治療を提供したいと思われる先生方に、本研修プログラムを専攻していただきたいと望んでいます。

内視鏡部 診療部長 炭山 和毅
